

平成30年2月開催

全面改正版 「木造校舎の構造設計標準（JIS A 3301）」セミナー

★セミナー概要

平成27年度に「木造校舎の構造設計基準（JIS A 3301）」が全面改正されました。

これは、学校等への木材の利用を一層促進することが求められるなか、大規模木造建築物の設計経験のない技術者等でも比較的容易に木造校舎の計画・設計が進められるよう、また、近年の学校施設に求められる機能や性能が確保できるように、全面的な見直しが行われたものです。

本JISは、平屋又は2階建ての校舎を対象に、比較的大きなスパンも含めた多様なタイプを、製材や集成材など地域に流通している材料を主に用いて在来軸組工法の考え方の延長で計画・設計できるように配慮されており、建築基準法に基づく国土交通大臣の指定により、同法施行令第48条第1項の規定が適用除外になるなど、建築確認においても理解が得られやすいものとなることが予想されます。

また、本JISに示された設計の考え方や、流通材とプレカットを利用した木造トラスの接合詳細、壁倍率1.5倍相当の高耐力壁の仕様及び高強度の柱脚金物などは、学校以外にも含めた中大規模木造建築物の計画・設計の一つの標準として、今後、幅広い展開が期待されるものであります。

本セミナーは、「JIS A 3301」とその技術資料（設計例を含む）をテキストとし、それらの作業に携わった学識経験者等を講師に迎えて実施します。是非この機会に、新しい木造校舎JISのセミナーを受講されることをお勧めします。

主催 (公財)日本住宅・木材技術センター

後援 文部科学省

後援 (一財)日本規格協会、(一社)日本建築学会、(一社)日本建築士事務所協会連合会、
(公社)日本建築士会連合会、(一社)日本建築構造技術者協会、(一社)JBN・全国工務店協会、
(一社)日本木造住宅産業協会、(一社)中大規模木造プレカット技術協会

開催地	開催日	会場	定員
東京	平成30年2月26日(月) 13:00~17:00 (休憩時間を含む)	場 所：(公財)日本住宅・木材技術センター 3階会議室 住 所：東京都江東区新砂3-4-2	40名

講師	内容
大阪市立大学大学院教授 横山 俊祐 氏	JIS A 3301による木造校舎の建築計画
東京大学大学院教授 稲山 正弘 氏	JIS A 3301による木造校舎の構造設計

種別	受講料	テキスト代	テキストについて
一般	9,720円	8,000円	①JIS A 3301 木造校舎の構造設計標準 ②JIS A 3301 を用いた木造校舎に関する技術資料 ※テキスト購入のお申込をされた方には、当日配布致します。 ※当日、会場での販売は行いません。
賛助会員	8,748円		

★その他

- ・建築士会CPD認定プログラム（予定）
- ・JSCA評価点対象講習会（予定）
- ・会場には電源等の準備はありません。
- ・PC等の持込み及び使用はご遠慮下さい。

★お申し込みはホームページから

<http://howtecs.shop-pro.jp/>

(公財)日本住宅・木材技術センター
総務情報部 TEL：03-5653-7663

★お申込先 (公財)日本住宅・木材技術センター 総務情報部あて FAX 03-3647-3840

受講申込書

- ★お申込手順 ① 当センターWEBサイト「<http://howtecs.shop-pro.jp/>」もしくは「本申込書」にてお申込下さい。お振込みのご案内をメールにてお送り致します。前納にてご対応下さいますようお願い致します。
- ② お振込の確認が取れ次第、受講票をメールにてお送り致します。セミナー当日、送付された受講票を持参して受付にご呈示下さい。

★開催日時等

平成30年2月26日(月)
13:00~17:00
東京都江東区新砂3-4-2
(公財)日本住宅・木材技術センター3階会議室

★該当する金額にチェックをご記入ください

- 17,720円 (一般、テキスト込み)
 9,720円 (一般、テキスト無し)
 16,748円 (賛助会員、テキスト込み)
 8,748円 (賛助会員、テキスト無し)
 ※1名あたりの金額となります

★参加者情報 (必ずご記入ください)

出席者氏名 (フリガナ)	e-mail
所在地 (〒 -)	TEL
勤務先名	FAX
CPD番号 又は 建築士番号 <input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 該当する(空欄に番号をご記入ください)	賛助会員番号 <input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 該当する(空欄に番号をご記入ください)

★請求書が必要な場合はご記入ください

請求書の宛名 例) 〇〇県知事 〇〇	e-mail ※請求書が必要な場合、受講票はこちらに送付させていただきます
請求書送付先住所 (〒 -)	TEL
請求書送付先担当者名 例) 〇〇部 〇〇〇〇	FAX ※請求書が必要な場合、受講票はこちらに送付させていただきます

★複数名でご参加の場合はご記入ください

2人目参加者氏名 (フリガナ)	CPD番号 又は 建築士番号
3人目参加者氏名 (フリガナ)	CPD番号 又は 建築士番号

- ★注意事項 ① セミナー当日ご欠席の場合は受講料の返金はしませんが、後日資料をお送りします。
 ② お預かりした個人情報本セミナーの受付、運営、当財団のサービスに関する事のために使用し、第三者に提供する事は一切ありません。

日本工業規格 木造校舎の構造設計標準 (JIS A 3301) の改正について

平成27年3月

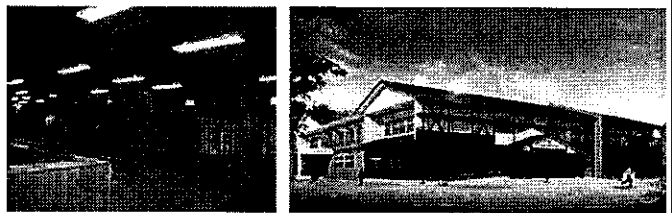
文部科学省では「木造校舎の構造設計標準の在り方に関する検討会」(座長:長澤悟 東洋大学名誉教授)において平成25年3月に取りまとめられた報告書を踏まえ、木造校舎の構造設計標準(JIS A 3301)を改正した。

1. JIS A 3301の改正

※写真はイメージでありJIS A 3301を用いて建築した例ではない。

このたび、日本工業規格である木造校舎の構造設計標準(JIS A 3301)について、**大規模木造建築物の設計経験のない技術者等でも比較的容易に木造校舎の計画・設計が進められるよう**、昭和31年に制定して以来、初めて全面改正した。

このJIS A 3301は、建築基準法施行令第48条第2項第二号に規定する「国土交通大臣が指定する日本工業規格」として指定されている。



○JIS A 3301改正の主な内容

①ユニットの形状の種類を増やし、従来からの片廊下型をAタイプとし、そのほかに、廊下と一体となったオープンスペースをもつBタイプ、中廊下型をCタイプ、大部屋型をDタイプとして追加。

(以下のJIS A 3301改正のイメージ参照)

②ユニットの各タイプごとの室の大きさの種類を増加。

③荷重条件の設定を見直し、各級の設定は積雪荷重条件に基づいて1級～4級とした。固定荷重、積載荷重、積雪荷重、風圧力、地震力の算定基準等は現行の建築基準法令に対応。

④構造部材の使用材料は、製材のほか、軸組材料には構造用集成材、面材料には構造用合板を追加。

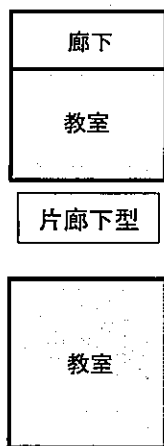
⑤耐力壁の仕様は、今回のユニット平面の壁配置において必要な耐震耐風性能を満足し得るだけの高い許容せん断耐力をもつ筋かい耐力壁及び構造用合板張り耐力壁を用意。

⑥水平構面は、厚物の構造用合板を横架材に直張りする仕様。

⑦軸組各部の接合仕様については全面的に見直し。

JIS A 3301改正のイメージ

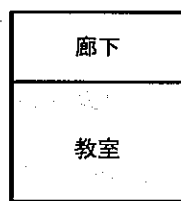
これまでのユニット



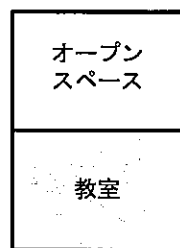
片廊下型(妻側)



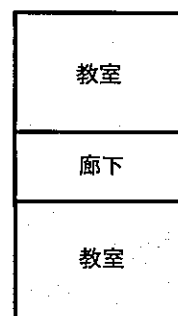
改正後のユニット



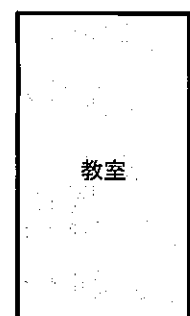
片廊下型
(Aタイプ)



オープンスペース型
(Bタイプ)



中廊下型
(Cタイプ)



大部屋型
(Dタイプ)

JIS A 3301では一定のルールに従って、このユニット(単位教室部分)をブロックのように組み合わせることにより設計者の創意工夫に基づき、自由に計画・設計することができる。

2. JIS A 3301の改正に伴い期待される効果

- ・これまで複雑であった木造校舎の設計が比較的容易となり、確実な木造校舎の設計が可能となる。
- ・地域材や地元職人の技術の活用による、地場産業の振興や地域経済の活性化が図られる。
- ・学校の校舎等を含む大規模木造建築物の設計等の技術者育成に寄与する。

JIS A 3301については、以下のホームページより閲覧できます。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/mokuzou/index.htm